



Seisen
Junior & Senior
High School

清泉女学院中学高等学校

〒247-0074 神奈川県鎌倉市城廻200
TEL 0467-46-3171 FAX 0467-46-3157 http://www.seisen-h.ed.jp

カイロス

καίρος

第51号

2013年7月12日発行

志を高く持ち、易きに流れない



進路指導・研究部
青戸 淳一郎

二〇一三年度大学入試の合格者数は次ページの表の通りです。首都圏の難関国立大学や早稲田大学、慶應義塾大学の合格者が増えました。また、六十三年卒業生の受験の内訳(グラフ1)を見ると、推薦・AO入試に比べ、多くの生徒が一般入試に挑んだことが分かります。この結果は担任や教科担当者、進路指導担当者のアドバイスを素直に受け入れ、自分の実力を信じ受験に臨んだことを表していると思います。また、これには保護者の協力も欠かせませんでした。一般受験に挑む後押しをしていただけたことも大きかったと思います。

本校では、勉強だけではなく部活動も一生懸命頑張る生徒が多くみられます。学校もそのような生徒を応援しています。しかし、大学受験に関しては、少し前まで、高三になって慌てて大学を選んだり、推薦・AO入試を選択してしまおうという消極的な雰囲気がありました。その大学が第一志望であれば良いのですが、そうではない選択で進学先を決めてしまうのを見て、「本当に生徒が希望した進路を実現出来ていたのか、選んだ

大学が第一志望であったのか」という思いが残りました。

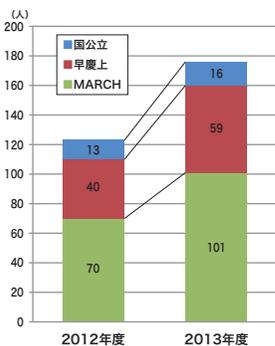
生徒の持っている実力を十分に伸ばして発揮させることが出来れば、最後まで第一志望を諦めず、本当に希望する大学に進学させることが出来るのではないかと考えました。「子どもに苦労をさせたくない」という保護者の強い思いから、推薦・AO入試を選ぶ傾向がありました。一般受験に対して安心していただけよう、大学受験に関する内容の保護者会を増やしました。また、保護者に対して、志望校の選択では「この大学なら入れそうだ」という理由で選択をしないようにと話しました。それは第一志望の選択ではないからです。今までの経験から、弱気になり志望校のランクを下げた生徒はモチベーションも下がり、残念な結果になることが多いようです。

将来を見据えた高い目標を掲げることで意識が高まり、学習意欲も向上すると考えています。大切なことは、最後まで諦めずに努力したという経験です。その経験は本人を裏切らず、その後の人生においても自分の支えとなるような何かを学び取るはずですよ。そのため第一志望へのこだわりです。そして、その成果が少しずつ数字に現れ始めました(グラフ2)。

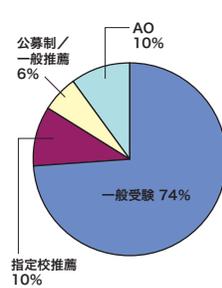
志望校に合格する先輩達の姿を間近に見て「自分もやればできるのではないか」という気持ち芽生え、最後まで妥協せずに第一志望を目指す生徒が増えて行っています。

学校生活の中で友達をつくり、そこから築かれる人間関係によって社会性を身につけ、部活動や委員会活動に取り組みむことで人間的に成長して行きます。本校の生徒たちは普段から部活動や委員会活動を本当によく頑張っています。勉強とそれらの活動や行事を両立できる学習意欲を育て、進学したい大学への挑戦と将来の希望の実現を後押しして行きたいと考えています。

【グラフ2】清泉女学院合格者数推移



【グラフ1】63期卒業生の受験の内訳



◆ INSIDE ◆ ② 夏休みに向けて・大学合格実績 ③ 2012年度 生徒会活動報告・清泉百景 社会科 大原俊輔先生
④ 先生方の夏休み ⑤ 学生生活進行形 東京藝術大学3年 小泉裕香さん ⑦ 短信・合唱祭結果 ⑧ 第1回 オープン
アカデミア・英語で学ぶスペイン語の授業・清泉祭